

変化し続ける社会環境に適した価値の創造



執行役員
技術開発部門長

佐野 秀二

DNTコーティング技報No.20を発刊するに当たり一言ご挨拶申し上げます。本誌はお客様にお役に立てる商品・技術情報・サービスのご提供を第一に考え、2001年にNo.1を発行して以来、20年間継続してまいりました。

本誌においても、鋼構造物の施工・塗料における動向と長耐久化、環境対応化、輸送機器の軽量化に向けた軽量素材の一つとして期待されるマグネシウム合金の動向や繊維強化プラスチックなどへの効率的な塗装方法であるIMC(インモールドコーティング)工法、また臭気を限りなく抑えた超低臭室内用水性塗料技術や省工程に寄与する金属調意匠塗料、そして抗菌・抗ウイルス機能を付与した新製品などを報文、解説、新商品紹介としてご紹介させていただいておりますので、お客様のお困りごとの解決や変化し続ける社会環境に適した価値創造の一助になれば幸いに思います。

今般、さらなる価値創造に向けて、お客様と共同で研究開発を行う「防食技術センター」と「コーティング技術センター」を開設いたしました。

防食技術センターは、大型構造物を想定した構造体に対して、現場環境を模擬した温湿度下での施工性、性能の検証ができる施設であり、多種多様な現場環境に適した塗装仕様、効率的な工法の研究開発や各種促進試験による塗膜下の金属腐食状態評価から塗膜・構造体の寿命予測を行えます。

コーティング技術センターは、大型の被塗物に対して、溶剤系・水系・粉体塗料の塗装、インクジェット加飾、ならびに両者を組み合わせたDNTデジタルコーティングシステム、さらにはIMCの検証ができる施設であり、お客様の塗装ラインを想定した塗装システムや機能性・意匠性の研究開発を行います。両技術センターはいずれもお客様とともにアイデアを具現化し、価値を創造する場としてご活用頂ければと思います、本誌特集として掲載しました。

最後にはなりますが、新型コロナウイルスの一日も早い終息と社会経済の回復を祈願するとともに、読者の皆様には何卒一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。